小学校高学年の部

優秀賞

「地域ごとの観光を」

うるま市立与那城小学校６年生　森根　千尋

皆さんは、沖縄の事を、自分の住んでいる地域の事を、どれくらい知っていますか。

地域の伝統芸能や歴史、風習や習かんなど色々あると思いますが、どれぐらい理解していますか。たぶん、ほとんどの人が、上手く伝える事が出来ないと思います。だから、私がまず最初に考えた事は、地域の人々が地域の事を学び、知り、伝統芸能や風習などを守りつづけながら、沖縄の事を知り、学び、各地域、独自の観光を考え、ピーアールしていく事が大切だと思います。なぜなら、地域によって、さまざまな伝統芸能や風習があるからです。それを失う事は、大切な財産を失う事と同じだと思ったからです。

各地域ごとの観光が出来れば、いろいろな地域の観光の中から、自由に選ぶ事が出来るし、いろいろな観光を楽しむ事が出来ると思うからです。

たとえば、私の住んでいる、うるま市、与那城、勝連地区なら、現代版組踊り、「肝高のあまわり」を観賞したり、世界遺産の勝連城しに登ったり、無形民俗文化財の平敷屋エイサーや、百二十年以上の歴史のある屋ヶ名エイサーを体験したり、照間のイグサでコースターなどを作ったり、海中道路や伊計島、浜比嘉島などで泳いだり、マリンスポーツを楽しんだり、のんびりと海を眺めながら、体を休めて、ウチナータイムを体験したり、いやされる時間をすごしたりして、いろいろなすごし方、楽しみ方があると思います。

また、食事も勝連産のもずくを使った料理や、津けん島の人参を使った料理、ニガナと島どうふのあえ物など、地域の名産品を使った料理を中心にして、お

出迎えしたいと思います。

　このように、沖縄県の各地域ごとの観光を考え、地域ごとのアピールをしていけば、色々な観光スタイルが産まれ、沖縄に来てくれる人が増えると思うし、次は、他の地域の観光を体験したい、とか、楽しみたいと思う人もあらわれて、リピーターも増えると思うからです。

　最後に、私がここまで考えられるようになったのは、与那城小学校で、学校の皆なと、海岸のゴミ拾いをしたり、イグサの事や、エイサーの事など、地域の事を学んだり、昔、きんわんにいた、ジュゴンをよびもどすために、Ｔシャツをデザインして、企画販売してその収益を寄付したりして、地域の事を考えて、地域と一緒に成長してきたので、地域と一緒に元気になり、いつまでも、地域の事を大切にして、一人でも多くの人々に、各地域の良さを、沖縄のすばらしさをつたえていきたいと思ったからです。